

## I. 研究の概要

### 1. 研究主題と副題

「学びを活かし、考え、表現する子の育成」  
～活用力を育む授業づくりを通して～

### 2. 主題・副題設定の理由

新学習指導要領移行年度にあっても、これまでの教育の理念を引き継ぎ「生きる力」を育む教育が求められている。「生きる力」とは、いかに社会が変化しようと、豊かな人間性とたくましい体力の涵養はもとより、基礎・基本となる知識や技能を確実に身につけ、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断行動し、よりよくその課題を解決する資質や能力である。本校では、その具現化に向けて、「知・徳・体のバランスのとれた品性のある子の育成」を学校教育目標に掲げ、学校が子どもたちにとって豊かな学びの場となるよう、日々の教育実践に取り組んでいるところである。

本校の児童は、明るく素直であり、課題にも熱心に取り組むことができる。昨年度までの取り組みにより、自分の考えを理由や根拠を明らかにしながら意見を述べることができる児童が増えてきた。しかし、友だちの意見と比較しながら考えることや、意見の差異について言及するなどの深まりのある学び合いができるようになっていないのが現状である。また、子どもたちが自ら発見した課題について、学習の見通しを立てたり学習を振り返ったりしながら、解決を図っていくような主体的な学習を展開していく経験の積み重ねも充分であるとは言えない。

本校の昨年度の全国学力・学習状況調査および県の基礎学力調査の結果から、「書くこと」に大きな課題が見られた。具体的には、目的や課題に即して、資料からわかったことをメモしたり効果的に表現したりすること、文章の組み立てや表現の効果を確かめ推敲することに課題が見られた。また、複数の資料から筋道を立てて考え、式や言葉を使つて的確に表現することに指導の必要性が見られた。

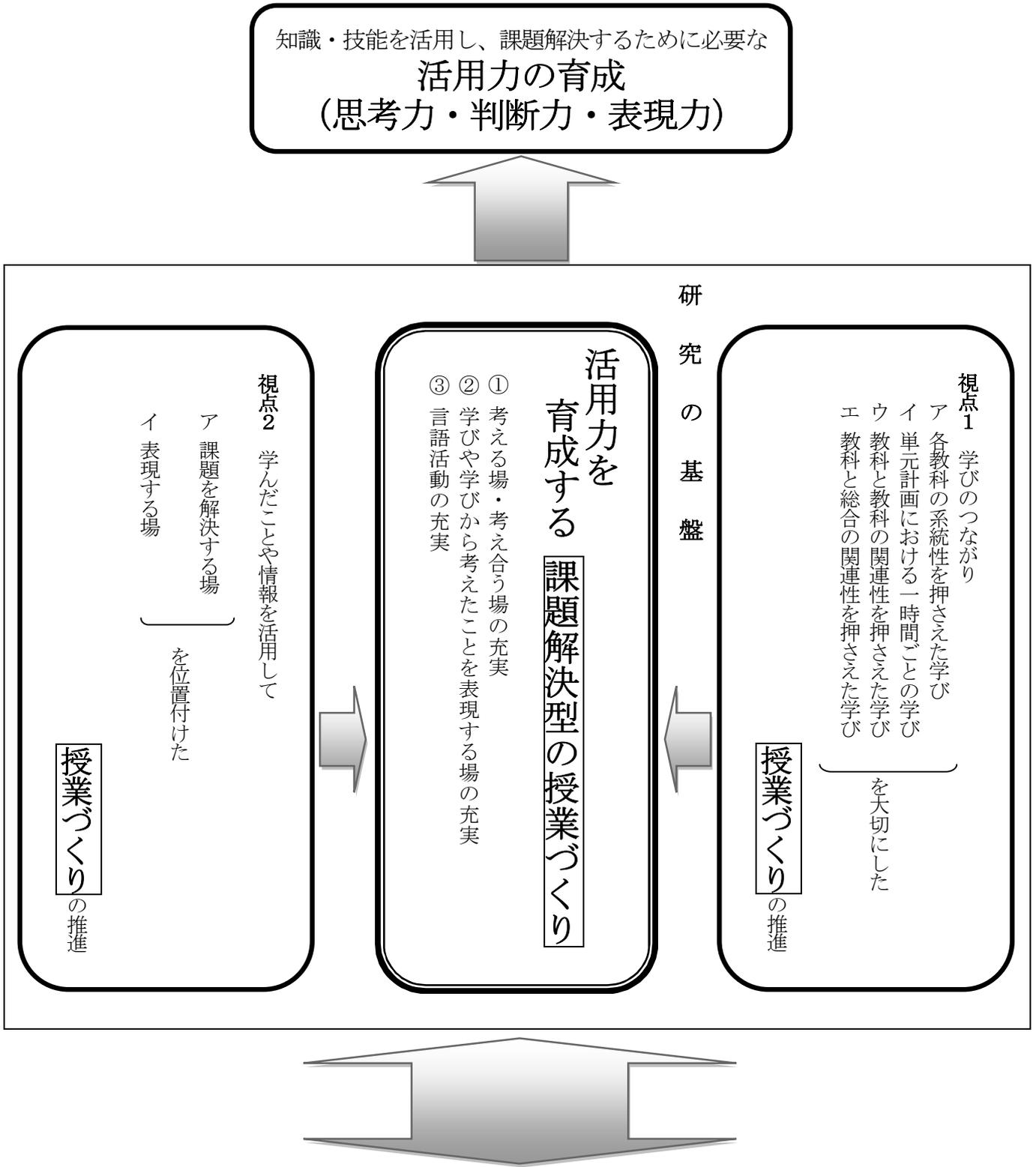
これらのことから、習得した知識・技能を「活用して考える」「目的や課題にそって表現する」「多くの情報から問題解決に必要な条件を整理し、思考・判断し表現する」ことに取り組んでいかなければならないことが明らかになった。

そこで、昨年度は、課題解決を図るために活かしてほしい既習事項や考え方・見方を位置付けた授業、学んだことや情報を活用して「解決する場・表現する場」を位置付けた授業に取り組んできた。しかし、子どもたちが、何を活かせば解決できそうかという道筋や見通しをもつための手立てや学びのつながりを実感できるような単元構成、各教科の特性を生かした活用力を育む授業づくりについてのさらなる研究が必要であるという反省が出された。

このような実態をふまえ、知識・技能を活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力を「活用力」と捉え、これらの力を育成していくことを研究の目的として、昨年を引き続き「学びを活かし、考え、表現する子の育成」を研究主題とした。

この主題に迫るためには、知識や情報、技能を活用して考え、判断し、表現するという学びを授業の中で積み上げていくことが必要である。そのために考える場・考え合う場・表現する場の充実とそれらの基盤となる言語活動の充実を位置付けた「活用力を育む授業づくり」を副題に掲げ、研究に取り組むことにした。

### 3. 研究全体構想図



知識・技能を活用し、課題解決するために必要な  
**活用力の育成**  
 (思考力・判断力・表現力)

研  
究  
の  
基  
盤

視点1 学びのつながり

ア 各教科の系統性を押さえた学び  
 イ 単元計画における一時間ごとの学び  
 ウ 教科と教科の関連性を押さえた学び  
 エ 教科と総合の関連性を押さえた学び

を大切にしたい

授業づくりの推進

活  
用  
力  
を

育  
成  
す  
る

課題解決型の授業づくり

- ① 考える場・考え合う場の充実
- ② 学びや学びから考えたことを表現する場の充実
- ③ 言語活動の充実

視点2 学んだことや情報を活用して

ア 課題を解決する場  
 イ 表現する場

を位置付けた

授業づくりの推進

視点3 思考力・判断力・表現力育成の基礎

ア 基礎的な知識・技能の確かな定着

- ・読み、書き、計算の技能
- ・文章を読み取る技能
- ・資料を読み取る技能

イ 既習事項を活用して思考する学習環境づくりの推進

- ・教室掲示の工夫
- ・校内掲示の工夫

ウ 聞き方・話し方・話し合い方の定着

- ・聞き方
- ・話し方
- ・話し合い方

## 4. 研究の内容

### (1) 研究の基盤

活用力（思考力・判断力・表現力）を育成する課題解決型の授業づくり

- ①考える場・考え合う場の充実に向けて工夫する。
- ②学んだことをまとめたり、学んだことをもとに考えたりしたことを表現する場の充実に向けて工夫する。
- ③言語活動の充実に向けて工夫する。

### (2) 研究の視点

**視点1 「学びのつながり」を大切にした授業づくりを推進する。**

**「つながり」を活用して課題解決する能力・態度の育成**

- ア. 教科の系統性を押さえて、「学びのつながり」を大切にした授業づくりを推進する。
  - ・各教科の系統性を押さえ、そのつながりを活用する授業づくりを進める。
- イ. 単元計画による「学びのつながり」を大切にした授業づくりを推進する。
  - ・単元計画における「学びのつながり」を押さえ、そのつながりを活用する授業づくりを進める。
- ウ. 教科間の「学びのつながり」を大切にした授業づくりを推進する。
  - ・教科間の「学びのつながり」を押さえ、そのつながりを活用する授業づくりを進める。
- エ. 教科と総合的な学習との「学びのつながり」を大切にした授業づくりを推進する。
  - ・教科と総合的な学習との「学びのつながり」を押さえ、そのつながりを活用する授業づくりを進める。

**視点2 学んだことや情報を利用して「課題を解決する場・表現する場」を位置づけた授業づくりを推進する。**

**知識や情報、技能を活用して、考え、判断したり、表現する能力・態度の育成**

- ア. 単元の学習の中に、発展課題や発展問題を位置付ける。
  - ・学んだことを活用して考えることができるように、課題や問題を吟味する。
  - ・学んだことを活用して考えることができるように、指導・支援を工夫する。
- イ. 単元の学習の中に、学んだことをまとめて表現する場を位置づける。
  - ・学んだことを活用して考えたり、表現したりできるように指導・支援を工夫する

**視点3 思考力・判断力・表現力育成の基礎づくりを推進する。**

- ア. 基礎的な知識・技能をしっかり身に付けさせる。
  - ・読み・書き・計算の技能の確かな定着に取り組む。
  - ・文章・資料を読み取る技能の向上に取り組む。
- イ. 既習事項を活用して思考する学習環境づくりを推進する。
  - ・教室の掲示・校内の掲示を工夫する。
- ウ. 聞き方・話し方・話し合い方の定着を図る。
  - ・学年に応じた聞く力・聞く態度の育成に取り組む。
  - ・学年に応じた話す力・話す態度の育成に取り組む。
  - ・学年に応じた話し合う力・話し合う態度の育成に取り組む。